

板倉 克典 議員 日本共産党弥富市議団



問 予算確保で広島研修の継続を

答 意義は大きく力を入れていく

○中学2年生全員の被爆地広島研修について、以下を問う。

問 令和6年度と平成26年度の、国立江田島青少年交流の家での生徒一人当たりの費用は。

答 **【教育部長】** 令和6年度は1,940円。平成26年度は1,250円。

問 令和6年度と平成26年度の、一人当たりの交通費は。

答 令和6年度は3万1,363円。平成26年度は2万6,973円。

問 令和7年度の平和教育推進事業費の予算額は。

答 1,682万円。

問 冊子「広島研修まとめ」を参加した生徒に配布する考えは。

答 各学校で研修後に発表を行っているので配布は考えていない。

問 平和教育推進事業費は予算が少ないと感じるが、市長の見解は。

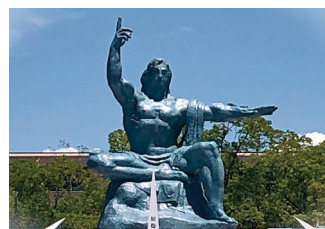
答 **【市長】** 担当課が研修にかかる必要な経費を算出し、計上している。

問 平和学習、広島研修を続けていく市長の思いは。

答 実際に被爆地を訪れ平和の尊さを実感し、単なる知識ではなく、心に響く形で平和の重要性を感じ取ることができ、意義は大きい。



▲冊子「広島研修まとめ」



▲平和祈念像（長崎）

問 核兵器のない世界への思いは

答 恒久平和に向け努力していく

○非核平和のまちづくりについて、以下を問う。

問 核兵器で牽制し平和をつくる国の考えと、市の目指す核兵器のない世界、この矛盾を市内小中学生に質問されたらどのように答えるか。

答 **【市長】** 核抑止の考え方は、核兵器を持って他国を牽制し抑止効果を期待するものであるが、核兵器そのものが平和を脅かす存在であると市は認識している。

問 平和首長会議の平和学習の好事例紹介に、広島研修を掲載依頼する考えは。

答 **【総務部長】** 予定はない。

問 原子爆弾被爆者健康管理手当を受給している市民は何人か。

答 **【健康福祉部長】** 令和6年度下半期分は8人の予定。

問 「平和都市宣言」を「非核平和都市宣言」に名称変更する考えは。

答 **【総務部長】** 考えはないが、平和の実現に向けた取組を進めていく。

問 自治体の首長として、核兵器のない世界への考えを。

答 **【市長】** 広島・長崎両市への原爆投下により、21万人を超える命が奪われた歴史を後世に伝えるべく、子どもたちの平和教育に力を入れていく。